

第12回

静岡歴史教育研究会



地域歴史資料の教材化

報告者①: 矢野慎一(神奈川県立柏陽高等学校)
「神奈川における地域資料教材化の取り組み
—日本史研究推進委員会の活動を中心に—」

報告者②: 三村昌司(防衛大学校)
「地域歴史資料の保全と地域住民のかかわり
—兵庫県三木市の事例を中心に—」

司 会: 戸部 健、岩井 淳(静岡大学)

地域の様々な人々の想いによって現在まで引き継がれてきた歴史資料。それは文書にとどまらず写真、レコード、石碑、出土資料、建物などにいたるまで実に多様です。近年では大災害で被災した文書の再生に向けた史料レスキュー活動も盛んに行われています。歴史学をはじめとする学術成果の多くがそうした資料に大きく負うことは言を俟ちません。

他方、地域に残された歴史資料の高校・大学教育、さらに地域社会での利用も各人の工夫のもとでなされています。ただ、そうした実践が歴史教育に携わる人々全体のなかで広く共有されているわけではありません。

そこで今回の研究会では「地域歴史資料の教材化」という共通テーマを設け、大学側から三村昌司先生、高校側から矢野慎一先生をお招きし、それぞれの取り組みについてお話いただきます。ご関心をお持ちの皆様にお越しいただき、交流の場にできればと思います。

日時: 2016年12月10日(土) 14:00～18:00

会場: 静岡大学人文社会科学部A棟6F大会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場: 無 料

主 催: 静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤形成を目指した教材・教授方法の探究と高大連携の推進」、静岡歴史教育研究会

共 催: 旧制静岡高等学校関係資料の整理・公開のための発展的事業
問合せ先: 岩井 淳(静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com